

数値化・可視化された効果の開示と、
たくましい将来ビジョンを望む



水川 淳 議員

【議員】財政健全化元年の数値的・可視的効果は。

【総務部長】年度中途であり決算を待つて示したい。

【議員】枠配当による予算編成の効果と課題は。

【総務部長】限られた財源を効果的に使用できる。また各部署の要望を予算に反映しやすくなる。一方、予算の優先度・必要性の整合を図るため、各職員との意思疎通に時間がかかる。

【議員】事務事業を20年度に絞り、21年度も更に見直す方針だが、いつまでか。また、どれだけか。

【総務部長】21年度予算編成方針に従い進めていく。集中改革プランの早期達成に努力する。

【議員】妊婦検診の回数増や第三子子育て支援手当などの創設効果は。

【健康部長・福祉部長】制度が始まった年度なので判断できない。

【議員】21年度「凍結」

する事業がある。規模縮小の考え方もあるが。

【総務部長】状況が好転したら再開を前提としているが、ニーズの変化によりそのまま廃止もありえる。

【議員】コミュニティ活性化事業の拡大は新規事業への助成か。

【総務部長】自治会が創意工夫して活性化を図ることを目的としており、各自治会における魅力ある事業の展開を期待する。

【議員】新組織での住民協働・相互扶助の醸成は。

【健康部長】ボランティア等には、今まで行政は受身だったが、今後は協働の観点から今まで以上に研究され、よい形になることを期待する。

【議員】第5次総合計画の展望は。

【副町長】住民参画・職員参画・進捗管理の仕組みづくりの3点がポイントとなる。

第5次総合計画策定について問う



近藤 隲治 議員

【議員】第5次総合計画策定の組織、人材はどのように考えているか。

【副町長】審議会は、委員18名以内で組織する。町職員は、部課長・係長を含め50人程を考えている。

【議員】住民ニーズをどのように取り込むか。

【副町長】町民アンケート、各種団体へのヒヤリング、子供達へのアンケート、パブリックコメント等、今後検討していきたい。

【議員】計画策定予算は。

【副町長】策定業務委託料として100万円（21・22年度各50万円）、計画書印刷・製本費用で60万円（22年度）を予定している。

【議員】基本構想の開示はいつごろになるか。

【副町長】平成23年3月にはできる。

ボートの町として今後の取組みについて

【議員】方針に変わりはなにか。

【教育部長】変わりたいと考えている。財政難でグリーンチャンピオンシップスレガッタは凍結する。中学校のボート部活動は顧問の先生の確保ができないので廃部とする。

【議員】中学校部活動の今後の取組みは。

【教育部長】東郷ボートクラブを設立し、教育委員会が全面支援して行く。

【議員】指導はどのようなように考えているか。

【教育部長】技術指導は、ボート協会にお願いし、平日（月・金）のトレーニング指導は、学校でお願いする。

【議員】3中学ボート大会は継続できるか

【教育部長】部員数が少ない学校もあり、他県クラブチーム対抗ができないか模索中である

【議員】今後のレガッタ大会については。

【教育部長】町民レガッタとグリーンチャンピオンを土日2日間の開催で検討したい。